
朝霞和光資源循環組合
ごみ広域処理施設整備・運営事業
落札者決定基準

令和6年4月

朝霞和光資源循環組合

目 次

第1 落札者選定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 選定の手順	1
第2 参加資格審査	4
1 参加資格要件の項目	4
第3 提案審査	4
1 提案書の基礎審査	4
2 提案書の定量化審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格の定量化審査	6
5 総合評価値の算定方法	7
第4 提案書の定量化審査において審査する点	7
第5 提案書に関するヒアリング	10
第6 審査結果等の公表	10

第1 落札者選定の手順

1 落札者決定基準の位置づけ

朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、エネルギー回収型廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）及びマテリアルリサイクル推進施設（不燃・粗大ごみ処理施設）の設計・建設及び運営に係る専門的な知識やノウハウ（管理運営能力等）を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）は、朝霞和光資源循環組合（以下「組合」という。）が本事業を実施する落札者の募集・選定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された提案書等を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

2 選定の手順

本事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、3頁の図1に示す手順で実施する。

(1) 参加資格審査

組合は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。なお、基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

イ 提案書の定量化審査

選定委員会は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

ウ 開札及び入札価格の確認

組合は、入札書に記載された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札価格の定量化審査

選定委員会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

オ 総合評価値の算定

選定委員会は、提案書及び入札価格の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出す

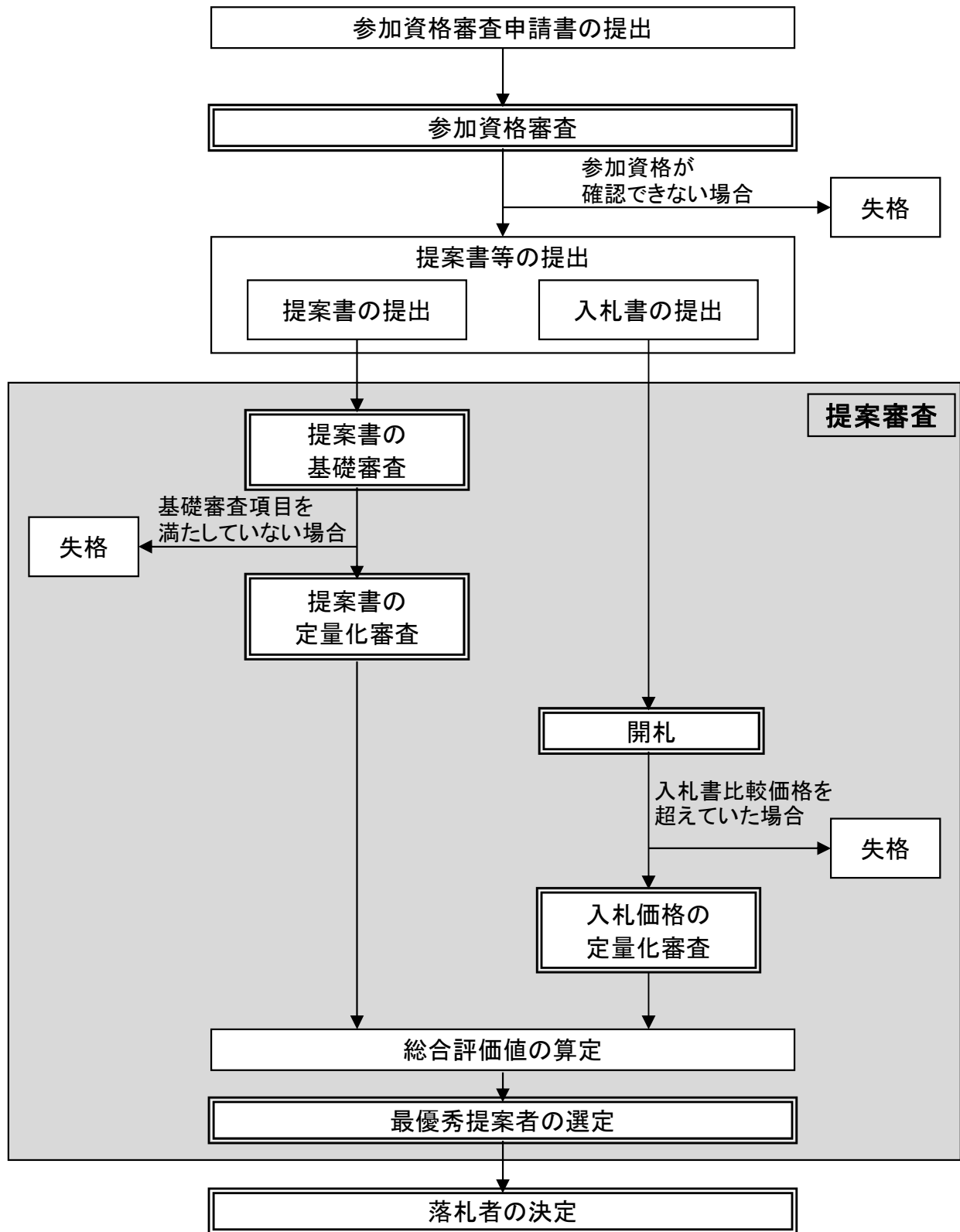
る。

カ 最優秀提案者の選定

選定委員会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

キ 落札者の決定

組合は、選定委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、選定委員会が2者以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※委員会の事務は図中網掛け部分（開札は除く）

図 1 落札者決定の手順

第2 参加資格審査

1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加に関する条件等」(P.7~11)を参照のこと。

第3 提案審査

1 提案書の基礎審査

(1) 提案書等の確認

提出された提案書等がすべて揃っていることを確認する。

(2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

ア 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。

イ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について遵守していること。

ウ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

2 提案書の定量化審査

(1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の定量化審査の配点、審査基準及び得点化方法については、事業期間にわたって各施設を「経済性・効率性を確保した施設」、「安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設」、「環境負荷が少なく、循環型社会の形成を推進する施設」、「地域社会に貢献できる施設」、「災害に対して強靱性を有する施設」といった5つの整備・運営コンセプトに配慮した施設整備及び運営を行うことの必要性・重要性を勘案し、組合が本事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより表1のとおり設定した。

したがって、審査項目は、組合が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、5項の表1のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4 提案書の定量化審査における審査の視点」を参照のこと。

表 1 審査項目及び配点

大項目	審査項目			配点
	中項目	No.	小項目	
1 事業提案に関する事項				60点
	(1) 経済性・効率性を確保した施設	1	搬入・搬出管理の効率性	4点
		2	効率的な屋内配置動線	3点
		3	売電電力量の最大化	4点
		4	経営計画及び事業収支計画	2点
	(2) 安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	5	基本性能の維持及びメンテナンス	4点
		6	処理システムの安定稼働	5点
		7	運営体制及び人員配置	5点
		8	リスク管理及び対処方法	3点
	(3) 環境負荷が少なく、循環型社会の形成を推進する施設	9	公害防止基準満足のための取組み	3点
		10	循環型社会形成の推進	3点
		11	脱炭素社会に向けた貢献	2点
	(4) 地域社会に貢献できる施設	12	親しみのあるデザイン及び景観	4点
		13	使いやすい屋外配置動線	4点
		14	見学者対応及び環境学習計画	4点
		15	地域との信頼関係の構築	3点
	(5) 災害に対して強靭性を有する施設	16	防災機能を有する施設	4点
		17	災害・トラブルへの対応力	3点
2 入札価格に関する事項				40点
	(1) 入札価格			40点

(2) 事業提案に関する得点化方法

ア 提案を求めている審査項目においては、次の表2のとおり、5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.00

イ 各審査項目の評価点については、次の算定式①により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。

ウ イの結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式①【事業提案の得点算定式】

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) = \frac{\Sigma(\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数}(5\text{名})}$$

3 開札及び入札価格の確認

提出された入札金額が入札書比較価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の定量化審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札金額が入札書比較価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

4 入札価格の定量化審査

(1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格においては、入札価格（様式集、様式第14号に記載する金額をいう。）について、次の算定式②により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

定量化限度額は、開札時に公表する。

算定式②【入札価格の得点算定式】

○最低入札価格 > 定量化限度額 の場合

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に対する得点} \end{array} \right) = 40\text{点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$$

○最低入札価格 ≤ 定量化限度額 の場合

$$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に対する得点} \end{array} \right) = 40\text{点} \times \left(\frac{\text{定量化限度額}}{\text{入札価格}} \right)$$

※入札価格が定量化限度額以下の場合、当該参加者得点は40点満点とする。

5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の定量化審査」、「4 入札価格の定量化審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式③により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式③【総合評価値の算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right)$	

第4 提案書の定量化審査における審査の視点

選定委員会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。

なお、各項目については、表3に示す審査の視点に対して、各入札参加者の過去の経験等を踏まえたより実現性の高い提案が望ましいものとする。

表 3 提案書の定量化審査における審査の視点

大項目	審査項目			審査の視点	配点
	中項目	No.	小項目		
1	事業提案に関する事項				60点
(1)	経済性・効率性を確保した施設	1	搬入・搬出管理の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 一般持込車両や収集委託車両等の搬入における効率的かつ安全、円滑な搬入の仕組みの構築について、計画性と実効性を期待する。 搬出物(焼却残渣及び資源物等)の搬出管理に対する計画性を期待する。 	4点
		2	効率的な屋内配置動線	<ul style="list-style-type: none"> 不燃ごみ(有害ごみ含む)及び粗大ごみの受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業、保管、搬出等の配置動線計画について、安全性、作業性及び合理性を期待する。 施設の運転・維持管理における安全性や作業性を考慮した各諸室や機器の配置、メンテナンスのための通路幅やスペースの確保、配置について、計画性と妥当性を期待する。 	3点
		3	売電電力量の最大化	<ul style="list-style-type: none"> 電力系統への接続条件を踏まえたボイラ蒸気条件設定及び定格発電出力、発電効率の設定の考え方に妥当性を期待する。 売電電力量の最大化に資するエネルギー回収型廃棄物処理施設における操炉計画や電力系統への接続条件を踏まえた制御のノウハウ等の設計面及び運営面からの取組みについて、計画性と実効性を期待する。 	4点
		4	経営計画及び事業収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業期間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画について、計画性と妥当性を期待する。 長期にわたる事業継続性の担保、運営事業者の財務リスクの最小化に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。 	2点
(2)	安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	5	基本性能の維持及びメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新の各対応について、計画性と妥当性を期待する。 30年以上にわたる本施設の使用を前提として、事業期間中の効率的な更新整備や保全管理を充実するストックマネジメントの考え方に基づく施設の長寿命化対策について、計画性と実効性を期待する。 本事業終了後10年間の運営コスト抑制のための方策について、妥当性を期待する。 	4点
		6	処理システムの安定稼働	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー回収型廃棄物処理施設における計画ごみ質や計画処理量の変動(季節変化、経年変化、破碎残渣混焼)に対する良好な燃焼状態の維持の方策について、計画性と実効性を期待する。 エネルギー回収型廃棄物処理施設における運転管理上の施設停止リスク(ピット内火災含む)の回避策について、計画性と実効性を期待する。 マテリアルリサイクル推進施設におけるごみ(リチウムイオン電池を含む)に起因する火災、爆発及び設備機器の損傷、施設停止を防止するための事前防止・事後対策について、計画性と実効性を期待する。 	5点
		7	運営体制及び人員配置	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の組織体制及び運転管理体制において、各々の役割分担が明確であり、必要かつ十分な人員配置計画であることを期待する。 持続可能な運営・維持管理を図るための運営期間中における技術者育成、研修制度、教育計画等について、計画性と実効性を期待する。 建設事業者、運営事業者(SPC)及び各構成企業間の責任所掌と調整に関し、代表企業による一貫した統制、事業者間の協議ルールについて、実効性と妥当性を期待する。 	5点
		8	リスク管理及び対処方法	<ul style="list-style-type: none"> リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響の極小化を可能とするリスク管理方針及び管理体制の構築を期待する。 事業期間を通じて、必要かつ十分なセルフモニタリング(事業計画のモニタリング)の内容及び頻度を期待する。 	3点
(3)	環境負荷が少なく、循環型社会の形成を推進する施設	9	公害防止基準満足のための取組み	<ul style="list-style-type: none"> 本施設の各公害防止基準を満足するための方策と運転監視方法(常時及び定期測定)について、実効性を期待する。 経済的・効率的な視点も考慮した環境負荷の低減に向けた運転基準値、要監視基準値の設定とその取組みについて、実効性と妥当性を期待する。 	3点
		10	循環型社会形成の推進	<ul style="list-style-type: none"> 設計・建設時における低環境負荷材料の使用の考え方について、具体性と実効性を期待する。 焼却残渣搬出量の最小化及び金属類等資源物の最大化について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 	3点

【審査の視点に示す用語の定義】

審査の視点に示す用語の定義は、以下のとおりである。

「計画性」： 課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する。

「実効性」： 求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する。

「妥当性」： 提案内容そのものが適切かどうかを判断する。

「具体性」： 提案内容がはっきりしており、具体的か否かを判断する。

「作業性」： 提案内容により働きやすくなり、生産性が向上するかを判断する。

「合理性」： 提案内容により無駄なく能率的に行われるかを判断する。

大項目	審査項目			審査の視点	配点	
	中項目	No.	小項目			
	(4) 地域社会に貢献できる施設	11	脱炭素社会に向けた貢献	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な省エネルギー方策による本施設運営時の使用電力量の最小化を期待する。 再生可能エネルギー(太陽光発電等)の活用や施設からの二酸化炭素排出量の最小化に向けた取組みについて、実効性と妥当性を期待する。 施設の温室効果ガス排出量のモニタリング方法について、具体的な提案を期待する。 	2点	
		12	親しみのあるデザイン及び景観	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の景観及び環境との融和に配慮した親しまれるデザイン、色彩及び景観計画を期待する。 地域住民や施設見学者等に配慮(市民開放、植栽計画、施設配置、ユニバーサルデザインの採用等)した施設とするため、創意工夫を期待する。 	4点	
		13	使いやすい屋外配置動線	<ul style="list-style-type: none"> 事業予定地の敷地条件や施設整備基本計画におけるゾーニングイメージを踏まえた各施設の円滑な連携が期待できる施設配置や敷地全体の動線計画について、計画性と妥当性を期待する。 周辺環境と調和し外部からアクセスしやすいオープンスペースの配置及び動線計画やそれに基づくセキュリティゾーンの設定について、優れた提案を期待する。 多様な搬入・搬出車両に対する分かりやすい場内誘導・サイン計画の構築について、創意工夫を期待する。 年末やゴールデンウィーク前後など、繁忙期における車両集中対策について、具体的な提案を期待する。 	4点	
		14	見学者対応及び環境学習計画	<ul style="list-style-type: none"> 見学者の多様性に配慮した見学通路・動線等が構築され、施設への理解の向上と円滑な見学対応が可能な見学ルートが構築されることを期待する。 持続的な資源循環のための取組みや、3Rの理解を深める分かりやすい内容や説明設備・体験型設備を組み合わせた環境学習設備について創意工夫を期待する。 見学者設備及び啓発関係設備、見学内容に対し、社会の変化に即応した対処や陳腐化しない工夫に期待する。 	4点	
		15	地域との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域との信頼関係の確立方法及び安心感の醸成のための運営面の工夫について、妥当性を期待する。 施工状況・環境保全状況・運転管理状況等に係る情報開示方針に対し、実効性を期待する。 構成市双方の地元企業の活用、地元雇用や地元からの資機材の調達等、整備・運営業務における連携体制の実行性を期待する。 	3点	
	(5) 災害に対して強靱性を有する施設	16	防災機能を有する施設	<ul style="list-style-type: none"> 浸水リスク等に対する施設の被害最小化及び早期復旧と安全運転の継続を実現するための方策について、具体性と妥当性を期待する。 自然災害や事故等への対策として、設計に配慮した事項や維持管理に配慮した事項の妥当性に期待する。 	4点	
		17	災害・トラブルへの対応力	<ul style="list-style-type: none"> 災害や事故・不具合等のトラブル時における対応の迅速性及び方策について、具体性と実効性を期待する。 災害等発生時における災害廃棄物の受入、貯留・保管、処理の方法について、設計面と運営面からの計画性と妥当性を期待する。 	3点	
	2 入札価格に関する事項					40点
	(1) 入札価格					40点

【審査の視点に示す用語の定義】

審査の視点に示す用語の定義は、以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する。

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する。

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する。

「具体性」：提案内容がはっきりしており、具体的か否かを判断する。

「作業性」：提案内容により働きやすくなり、生産性が向上するかを判断する。

「合理性」：提案内容により無駄なく能率的に行われるかを判断する。

第5 提案書に関するヒアリング

選定委員会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり入札参加者に対し、ヒアリングを行う。なお、ヒアリングについては、入札参加者の独自のノウハウに関する内容も含むことが想定されることから、非公開のもとで実施する。

ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

第6 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。